



2021年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年11月10日

上場会社名 かっこ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4166 URL https://cacco.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 岩井 裕之
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理部門管掌CFO (氏名) 関根 健太郎 TEL 03 (6447) 4534
 四半期報告書提出予定日 2021年11月10日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第3四半期の業績（2021年1月1日～2021年9月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	685	10.7	148	16.0	144	19.7	98	△23.7
2020年12月期第3四半期	619	-	128	-	121	-	129	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	37.58	34.47
2020年12月期第3四半期	55.23	-

- (注) 1. 2019年12月期第3四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2020年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。
 2. 2020年12月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であったため、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。
 3. 当社は、2020年8月12日開催の取締役会決議により、2020年9月9日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
2021年12月期第3四半期	1,370	1,250	1,250	1,148	91.0
2020年12月期	1,822	1,148	1,148	1,145	62.8

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 1,247百万円 2020年12月期 1,145百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2021年12月期	-	0.00	-	-	-
2021年12月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年12月期の業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	909	9.4	154	11.8	149	29.3	102	△21.3	39.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期3Q	2,622,665株	2020年12月期	2,619,581株
② 期末自己株式数	2021年12月期3Q	一株	2020年12月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期3Q	2,620,741株	2020年12月期3Q	2,337,081株

(注) 当社は、2020年8月12日開催の取締役会決議により、2020年9月9日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明内容の入手方法)

四半期決算補足説明資料「2021年12月期第3四半期決算説明資料」は、T D n e t で同日開示した後に当社ウェブサイトに掲載する予定です。また、当社は、2021年11月10日（水）に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会の動画及び当日配布する決算説明会資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(2021年1月1日～2021年9月30日)における我が国経済は、全国的な新型コロナウイルス感染症拡大により、緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置が断続的に発令され、社会経済活動の再開が限定的なものとなった結果、景気は回復基調にはあるものの緩やかな回復に留まりました。今後、ワクチン接種の更なる浸透による感染抑制や政府の経済対策効果等が期待されるものの、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

消費者向け電子商取引(BtoC-EC)市場は、経済産業省による2020年の調査「令和2年度産業経済研究委託事業(電子商取引に関する市場調査)報告書」によると、主として旅行サービスの縮小に伴うサービス系分野の大幅な減少により、市場全体は前年比0.43%減の19.3兆円にとどまったものの、新型コロナウイルス感染症拡大の対策として外出自粛の呼びかけ及びECの利用が推奨された結果、物販系分野は前年比21.71%増と大幅な拡大となりました。また、EC化率(全ての商取引市場規模に対する電子商取引市場規模の割合)が前年比1.32ポイント増の8.08%となるなど、BtoC-EC市場は依然として着実な成長を続けております。

一方、クレジットカード番号等の情報を盗まれ不正に使われる「番号盗用被害」が急増している近年の状況を受け、改正割賦販売法において、クレジットカード番号等の不正な利用を防止するために必要な措置を講じることが義務化され、また、その実務上の指針となる、「クレジットカード・セキュリティガイドライン2.0版(クレジットカード取引セキュリティ協議会)」においては、非対面取引におけるクレジットカードの不正利用対策として、加盟店に対して「属性・行動分析(不正検知システム)」等の方策をリスク状況に応じて導入することが求められるなど、不正対策に対する社会的要請はますます高まっております。

このような事業環境のもとで、当社は「未来のゲームチェンジャーの『まずやってみよう』をカタチに」という経営ビジョンを掲げ、当社の有するセキュリティ・ペイメント・データサイエンスの技術とノウハウをもとに、アルゴリズム及びソフトウェアを開発・提供することで、企業の課題解決やチャレンジを支援する「SaaS型アルゴリズム提供事業」を展開してまいりました。

不正検知サービスにおいては、不正注文検知サービス「0-PLUX」について、上限額なしでクレジットカードの不正利用被害を補償する「0-PLUX Premium Plus(出荷判断代行サービス)」をリリースする等、サービス範囲の拡張を図るとともに、カード会社、決済代行会社とのパートナー契約締結等、アライアンスの推進に努めた結果、新規顧客の増加及び既存顧客の持続的な成長により、当第3四半期累計期間の「0-PLUX」のストック収益額(定額課金である月額料金と審査件数に応じた従量課金である審査料金の合計額)は509,893千円(前年同期比18.3%増)に拡大しました。また、不正アクセス検知サービス「0-MOTION」について、低価格で利用可能な新たなラインナップ「0-MOTION Light」をリリースする等、引き続きサービスの拡充を図るとともに、多分野での販路開拓に取り組んでまいりました。

決済コンサルティングサービスにおいては、システム開発案件の受注獲得に努め、また、データサイエンスサービスにおいては、1億レコードまで30営業日で集計・解析・報告を行う新たなデータ分析サービス「さきがけKPI」の販売拡大に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は685,523千円(前年同期比10.7%増)、営業利益148,869千円(前年同期比16.0%増)、経常利益144,875千円(前年同期比19.7%増)、四半期純利益98,476千円(前年同期比23.7%減)となりました。

なお、当社はSaaS型アルゴリズム提供事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は889,968千円となり、前事業年度末に比べ512,796千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が508,822千円減少したことによるものであります。固定資産は480,553千円となり、前事業年度末に比べ60,380千円増加いたしました。これは主に不正検知サービスにおけるシステムのアーキテクチャ刷新に伴うソフトウェア開発により、ソフトウェア及びソフトウェア仮勘定が83,747千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は1,370,522千円となり、前事業年度末に比べ452,416千円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は117,238千円となり、前事業年度末に比べ266,244千円減少いたしました。これは主に1年内返済予定の長期借入金が184,893千円減少したこと及び1年内償還予定の社債が30,000千円減少したこと並びに未払金が54,811千円減少したことによるものであります。固定負債は2,868千円となり、前事業年度末に比べ288,141千円減少いたしました。これは主に財務体質の改善及び経営効率の向上を目的とした有利子負債の繰上返済により、長期借入金が213,141千円減少したこと及び社債が75,000千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は120,106千円となり、前事業年度末に比べ554,385千円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は1,250,415千円となり、前事業年度末に比べ101,969千円増加いたしました。これは主に四半期純利益の計上により利益剰余金が98,476千円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は91.0%（前事業年度末は62.8%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月10日付で「2020年12月期決算短信」において公表いたしました2021年12月期通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,293,177	784,355
売掛金	89,922	85,034
仕掛品	135	138
前払費用	16,580	14,507
その他	2,950	5,933
流動資産合計	1,402,765	889,968
固定資産		
有形固定資産	12,423	11,095
無形固定資産		
ソフトウェア	16,834	396,313
ソフトウェア仮勘定	295,730	—
その他	1,414	1,324
無形固定資産合計	313,979	397,637
投資その他の資産	93,769	71,820
固定資産合計	420,172	480,553
資産合計	1,822,938	1,370,522
負債の部		
流動負債		
買掛金	14,355	14,810
1年内返済予定の長期借入金	189,177	4,284
1年内償還予定の社債	30,000	—
未払金	88,316	33,505
未払法人税等	24,050	23,604
未払消費税等	13,037	18,884
賞与引当金	11,763	7,813
その他	12,782	14,337
流動負債合計	383,483	117,238
固定負債		
長期借入金	216,009	2,868
社債	75,000	—
固定負債合計	291,009	2,868
負債合計	674,492	120,106
純資産の部		
株主資本		
資本金	362,499	363,562
資本剰余金	538,710	539,774
利益剰余金	244,524	343,001
株主資本合計	1,145,733	1,246,338
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△588	776
評価・換算差額等合計	△588	776
新株予約権	3,300	3,300
純資産合計	1,148,445	1,250,415
負債純資産合計	1,822,938	1,370,522

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
売上高	619,329	685,523
売上原価	192,660	179,915
売上総利益	426,669	505,608
販売費及び一般管理費	298,323	356,738
営業利益	128,345	148,869
営業外収益		
受取利息及び配当金	58	91
受取手数料	11	505
還付加算金	55	—
営業外収益合計	125	596
営業外費用		
支払利息	4,941	3,333
上場関連費用	2,000	—
社債償還損	—	783
その他	479	474
営業外費用合計	7,420	4,591
経常利益	121,050	144,875
税引前四半期純利益	121,050	144,875
法人税、住民税及び事業税	18,538	21,942
法人税等調整額	△26,569	24,456
法人税等合計	△8,031	46,398
四半期純利益	129,081	98,476

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自2020年1月1日至2020年9月30日)

当社は、SaaS型アルゴリズム提供事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期累計期間(自2021年1月1日至2021年9月30日)

当社は、SaaS型アルゴリズム提供事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。